

校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成29年度2号

風薫る五月。1年生も少し学校に慣れてきた頃です。学校を楽しみに登校してくれているのでしょうか。1年生を気づかいながら一緒に登校して来るお兄ちゃんやお姉ちゃんが、とても頼もしく感じられるのも毎年この季節です。



私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげても

お空はちつとも飛べないが

飛べる小鳥は私のように

地面を速くは走れない

私がかからだをゆすつても

きれいな音は出ないけど

あの鳴る鈴は私のように

たくさんの歌は知らないよ

鈴と 小鳥と それから私

とても有名な金子みすゞさんの詩です。この詩が書かれたのは大正時代。その時代に「みんなちがってみんないい」という考えが浮かぶことをステキだなあと思うのは私だけではないでしょう。

一人ひとり「みんなちがう」、そして、そのお互いのちがいを認め合い、尊重しあうことができたとき「みんないい」になります。そして、この世の中は豊かになるのです。

でも、「みんなちがう」は当たり前のはずなのに、障がいがある、外国人である、同和地区の出身である、性的マイノリティである、病気である、宗教がちがうなど、自分とちがうという理由で理解しようともせずに差別をする人たちがいます。他を排斥することでしか自分を保てない弱い心の持ち主になってしまうこともあるのでしょうか。人を理解するための労力を使えないほど心が疲れているときもあるのかもしれませんが。だからといって差別は許されるものではありません。

子どもたちには、強くやさしい心を持ち、差別やいじめを許さない、「みんなちがってみんないい」と当たり前に見える人に育ってほしいと思います。

そんな人たちのあふれる社会こそが、誰もが気持ちよく生活できる社会なのです。

本の紹介

こぼんちゃん日記 小亀文子著

ご存じの方も多いと思いますが、本校の卒業生のお母さまの書かれた本です。

自閉症の息子さんをご家族だけではなく、学校、地域の中で育ててこられた小亀さんの奮闘記。大変なこともたくさんあったと思いますが、とても前向きに顔をあげて笑い飛ばしながら過ごされた日々が描かれています。

学校に、1冊(サイン入り)寄贈していただきました。図書室に置いてありますので、子どもさんと一緒に読んでみてください。

先月の学習参観、学級懇談会、PTA総会へのご参加ありがとうございました。新しい学年になって、初めての学習参観、子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか。また家庭訪問では、子どもたちの学校での様子、ご家庭での様子など、学級担任と伝えあえたでしょうか。短い時間で充分なお話ができなかったかもしれません。話し足らなかったことや、気になることがありましたら、担任まで、遠慮なく連絡ください。

遠足、ゴールデンウィーク、家庭訪問が終わり、子どもたちに通常の学校生活に戻ってきました。学校の1年の中で5月、6月は、基礎固めの時です。この時期にしっかりした生活習慣や学習習慣ができ、先生や友だちとの人間関係が確立できたら、その後少々トラブルがあっても、それはトラブルを解決する力や、子どもが育つ糧になります。

スクラムを組んで子どもたちの応援団になりたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



1,2年生と一緒に行った遠足。木陰で新緑の山を眺めながら、「世界一気持ちいい」と言った子どもたち。自然は人の心を柔らかくしてくれます。